

# ☑️ ファクトチェック

維新対反維新で舌戦が繰り広げられています。現府政・大阪市政の与党・維新の主張についてファクトチェックです。



「ファクトチェック」事実かどうかを確認すること。文書や発言の中で事実として示されている事柄に誤りがないかどうか調べること。

## 大阪の成長

「インバウンドの急増で」?

### 市民に成長の実感なし! ☑️

大阪が成長したと言いますが、一人当たりの府民所得は全国より大きく落ち込んでいます。貧困率も沖縄に次いで高く、多くの市民には実感がありません。

インバウンド(外国人観光客)の伸びには、大阪の歴史・文化・食べ物の良さや人情味がプラスさせ、さらには「物価の割安感や関西国際空港での格安航空会社(LCC)の便数増が背景にある」(産経West 2018.1.17)ことが主な要因です。「物価の割安感」とは円安効果。

維新の成果ではありません。

## 夢洲

「オリンピックのために6000億円で埋め立てた負の遺産、今は1円も税収ないがIR(カジノ)で儲ける」?

### 夢洲は立派に役に立っています! ☑️

夢洲には、コンテナターミナルがあり物流拠点として繁盛、物流会社や冷凍倉庫が土地を購入して税金を納めています。また、現役のゴミ最終処分場は一日でも長く延命させることが市民の利益になり、負の遺産ではありません。オリンピックのために埋め立てたというのはデマです。

検証 維新政治 3  
読売新聞 3月28日付  
バブル経済全盛の1988年、市は夢洲を6万人が住む新都心とする計画を発表したが、バブル崩壊で頓挫。3000億円を投入してきたが、いまだ人口は「0人」。

## 二重行政

「旧WTCビルとりんくうゲートタワーは「二重行政」の象徴だ」?

### バブルに踊った政策の失敗です! ☑️

維新は「二重行政」だとのパネルを掲げて批判します。これは、バブル期に国がすすめたベイエリア開発事業に大阪府・大阪市のともにのめり込み、それぞれ巨費を投入し、バブル崩壊とともに失敗したのです。二重だから失敗したわけではありません。

## カジノ

「カジノに心配の声はあるが、リスクは道を歩いててもある」?

### リスクは「効果」の約5倍! ☑️

カジノのリスクを「犬も歩けば…」のように言うのは不見識です。カジノ誘致が成長戦略だと言いますが、ギャンブル依存症の増加、家族崩壊、犯罪の増加は必至です。韓国ではマイナス効果が経済効果の4.7倍に上ると政府機関が発表しています。

## 大阪都構想

「大阪市の解体って印象操作、街並み解体できますか」?

### 大阪市はなくなり、バラバラになります! ☑️

「大阪都」は、大阪市を廃止して4つの特別区に分割するものです。「大都市特別区設置法」で「市を廃止」とはっきり。大阪市のホームページにも「大阪市をなくし特別区を設置」と明記しています。

## 地下鉄民営化

「トイレがきれいになった」?

### 平松市長在職時の計画でした! ☑️

平松市長(当時)が2011年3月に、地下鉄の黒字を還元するために①トイレの改修計画、②転落防止柵を御堂筋線全駅への設置を決めていました。その年末の選挙で維新市長が当選し、トイレの改修は継承、安全対策は中止したのです。

明るい清潔感のある駅づくり(より明るく快適な市営交通へ)  
どなたにも利用したいと思われるような駅づくりを目指し、トイレをはじめとする、明るく清潔感のある快適な空間づくりを進めます。

【事業内容とスケジュール】

- 御堂筋線「新大阪駅」「梅田駅」「なんば駅」「天王寺駅」のトイレ改修(平成25年度完成予定)
- 御堂筋線「本町駅」のホーム壁、天井、トイレ等全面的な美装化(平成25年度完成予定) など

事業費 3,188百万円(平成23~27年度)

大阪市営交通事業の今後の施策展開について(2011年3月)



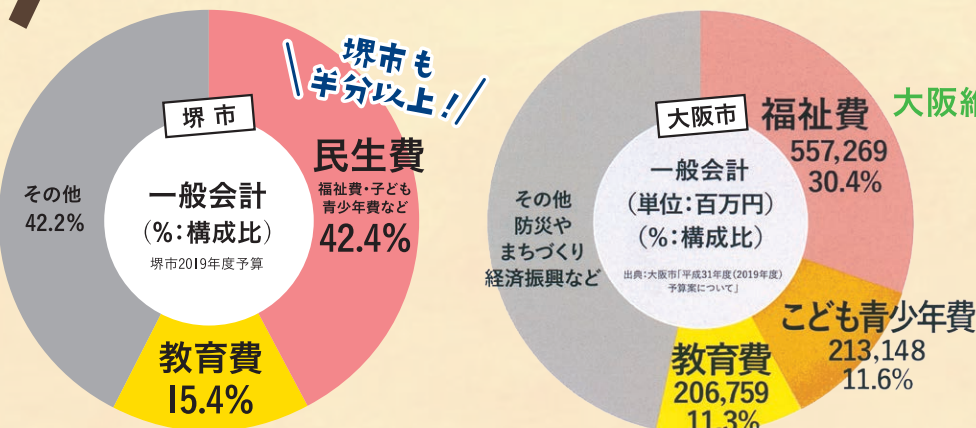
## 「なんで自慢なん?」

基礎自治体の予算なら  
福祉・教育予算はどこでも半分あります。  
なにもたいそうに自慢することではありません。

## 「子ども教育予算が8倍!」って?

「7年で8倍!」のグラフは、一部の目玉政策だけを  
目立たせるグラフでインチキでは? 1.19倍が事実です。

7年で  
8倍!



子ども青少年費 2,131.48億円 + 教育費 2,067.59億円  
合計 約 4,199億円

都合のいい一部だけ

